

会 議 名	第2回港区放課GO→クラブあざぶ運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和3年10月20日（水曜日） 午後2時30分から3時30分まで
開 催 場 所	港区役所513会議室
委 員	出席者 6名 岡田委員長、富田副委員長、安梅委員、請川委員、白井委員、宮島委員
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 櫻庭 靖之、施設運営担当係長 駒井 担当 小林、小峰
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題の審議 議題1 第一次審査通過事業者の決定について 議題2 第二次審査について （1）第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について （2）追加要望資料の有無について 3 今後のスケジュールについて 4 閉会
配 付 資 料	[席上配布] 資料1 港区放課後GO→クラブあざぶ運営事業候補者選考委員会委員名簿 資料2 第1回港区放課GO→クラブあざぶ運営事業候補者選考委員会会議録 資料3 第一次審査集計表 資料4 第一次審査コメント一覧 資料5 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）の方法について 資料6 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）採点表
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会 説明に入る前に放課GO→クラブあざぶ運営事業候補者選考委員の変更をお知らせさせていただきます。10月16日付の人事異動に伴いまして、子ども家庭支援部子ども家庭課長が変更しました。お手元の資料1のとおり、選考委員につきましても、西川委員から白井委員に変更になりましたので、挨拶をお願いします。
白井委員	挨拶
事務局	次に、資料2の第1回選考委員会の会議録ですが、事前に送付したものに

	<p>修正を加えたものをお配りしています。よろしければ確定とさせていただきます。</p>
全委員	<p>了承</p>
事務局	<p>2 議題の審議</p> <p>【議題1 第一次審査通過事業者の決定について】</p> <p>第一次審査結果について説明</p> <p>事業者Aは、788点で得点率は65.7%、 事業者Bは、895点、加点項目分3点を除く得点率は74.3%です。 事業者Bは、ワークライフバランス推進企業に該当しますので、第一次審査評価点の5%の3点を加算しています。</p>
委員長	<p>それでは、第一次審査について審議します。 まず、採点の結果について、各委員から講評をお願いします。</p>
A委員	<p>事業者Aは、学童クラブについてあまり理解されていない印象を受けました。特に「児童の健全育成の考え方」については、2点をつけました。と言うのは、どうも記載内容が保育の考え方で書かれていて、学童クラブの考え方に直し切れていないような文章が残ってしまっていると感じました。全般に児童の健全育成や自主性、自立性、主体性を尊重していない記述が所々にみられましたので、その部分は低い点数をつけています。</p> <p>事業者Bは、児童の主体性を尊重するような記述が感じられましたので、事業者Aに比べて高い点数をつけました。</p>
B委員	<p>合計点では、事業者Aを低い点としました。事業者Aは、保育園の運営実績が多く、学童の実績少ないということで、点数を低くしています。私が一番気になったのは、「人材確保・職員採用、人材育成、職員定着について」で、常勤配置が多いのは良いのですが、一人ずつの人件費が低いところです。事業者Aと事業者Bを比べると、事業者Aは年収270万円位、事業者Bは400万円程度ということで、経験年数の違い等はあると思いますが、ある程度人件費を高くしないと良い人材が残ってくれないと思います。</p> <p>次に、「施設の衛生管理について」のコロナウイルス対策ですが、事業者Aは、感染症全般の記載はありますが、コロナに関する特別な記載はありませんでした。事業者Bは、コロナの対応についての想定が記載されているので、今の状況下では、事業者Aに少し不安があると思います。</p> <p>「児童の人権への配慮」では、いじめ対応について、事業者Aは一般的なことは書かれていましたが、麻布地区の地域性を考えた時に国際性豊かな地域ですので、人権や外国人のお子さんへの対応などが弱いかなと思いました。麻布地区をどの位理解されているのかと、人件費について不安に思い、事業者Aの点数を低くしました。</p>
C委員	<p>最初読み比べた時に、基本理念は、事業者Aに高い点数をつけました。む</p>

しる事業者Bのほうが低い点だったのですが、総論から各論に移るにしたがって「安全対策・危機管理」、「事業内容」について、事業者Aは理念等は良いのですが、具体的に何を実施していくかが今一つ見えてこない所がありました。

事業者Bは、麻布の特色に沿って、学年交流等の具体的な内容が良くみえていたので、全般的に「安全対策・危機管理」、「事業内容」を中心に点数が高くなりました。

D委員

事業者Aと事業者Bとの差ですが、実績を見ると事業者Aは、保育園は多いが

学童クラブの実績が少ない点がポイントになったと思います。そこから引張られるような形で「基本理念」は事業者Aは普通で、事業者Bは良いという評価になりました。「安全対策・危機管理」についても総じて事業者Aは普通で事業者Bは良いと評価しています。以上の評価の差が総合の点数として129点对147点ということで、事業者Bに優位性があると判断しました。

E委員

私は事業者Aが123点、事業者B140点ということで、事業者Bを評価しました。

まず、管理運営面ですが、事業者Aはこれから法人運営推進部で研修PTを立ち上げて、研修を企画、実施していくということで、これから行なう点がマイナス評価となりました。「安全対策・危機管理」の面でも出欠の確認や登室・退室時の提案が一般的であり、具体性が見えなかったという部分もマイナスポイントにしています。一方でおやつに関する提案については、アレルギー、緊急時の対応、特別な対応・配慮の有無について、書面を交わし確認するという部分は評価しました。「事業内容」については、年間事業計画に具体性が欠ける部分がありました。学校との避難訓練への参加や緊急時のフローの確認、法人運営施設では、近隣の町会との連携の実績があるという点は評価をしています。

事業者Bは、「管理運営」では勤務シフトの作成が具体的に提案されていることや、ソリューションプランナーの配置など本部の支援体制が評価できました。責任者や職員の配置は、常勤か非常勤かを資料から読み取れることができなかったのが、残念な所です。「安全対策・危機管理」については、新型コロナウイルス感染症対策に対応できている点が評価できました。おやつの内容、栄養面での配慮、アレルギー対応などきちんと謳われていたので、評価しました。「事業内容」は、年間事業計画の中でイベント内容も多彩で、外部講師の活用なども評価できました。学校や周辺施設、地域との連携に関しては、常に学校との共通認識のもとに運営に取り組むことや、港区いきいきプラザとの交流などが評価できました。やはり地域の特性を踏まえて、地元根ざしている点や学校との連携に取り組んでいる点が、大きく点差の開いた所だと思います。

F委員

私は他の委員の方々とは違い、事業者Aを評価しました。事業者Aの提案書を読みますと、的確にポイントが押さえられているなという印象を持ちまし

	<p>た。提案書の要点を読んで、評価できると感じました。</p> <p>事業者Bの場合は、詳しく書かれていますが、わかりづらい所ありました。最初から項目ごとに事業者Aと事業者Bを比較して読めば良かったのですが、今回は事業者ごとに評価した結果がこのようになりました。事業者Aの評価できるのは、職員の配置が充実している点です。事業者Bは少ない人数でやられているかなという所が心配なので、この点については、プレゼンテーションで聴いてみたいと思います。</p> <p>今、委員のみなさんのご意見を聴いて、なるほどと思った部分がありましたので、後ほど事業者A、事業者Bともに点数を訂正したいと思います。</p>
委員長	<p>それでは、みなさんに講評していただきましたが、点数の修正がある方はいらっしゃるでしょうか。いらっしゃらないようでしたら、私は修正させていただきたいと思います。</p> <p>事業者AのⅡ1(1)を8点、1(2)を8点、2(5)を8点、3(3)を12点、3(4)を8点、4(5)を8点でお願いします。続きまして事業者Bは、Ⅱ2(1)を8点、2(2)を8点、4(1)を4点、4(4)を8点、4(5)を8点、4(6)を8点に修正します。訂正が多いですが、よろしくをお願いします。以上です。</p>
事務局	<p>それでは、集計に5分程度お時間をいいただいて、よろしいでしょうか。</p> <p>～ 採点再集計 ～</p>
事務局	<p>改めまして第一次審査の集計結果をお知らせします。事業者Aは、774点で得点率は64.5%、事業者Bは906点で得点率は、加点項目分3点を除く得点率は75.3%です。</p> <p>通過順位は、1位が事業者B、2位が事業者Aとなります。</p>
委員長	<p>今の点数を受けまして、第一次選考の点数と順位を確定してよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承</p>
委員長	<p>続きまして、第一次審査通過事業者を決定したいと思います。委員から何かご意見はございますか。ないようでしたら、A、Bの2事業者を通過事業者としてよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承</p>
委員長	<p>それでは、第一次審査通過事業者は、事業者B、事業者Aに決定いたします。</p>
全委員	<p>了承</p>

委員長	<p>続きまして、第二次審査について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【議題2 第二次審査について】 第二次審査について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの方法 ・プレゼンテーションの条件 ・追加資料
委員長	<p>続きまして、第二次審査について審議いたします。まず。プレゼンテーションの方法についてです。2事業者統一した方法が良いと思いますが、パソコン、プロジェクターを使用するか、あるいは提案書のみにするか、委員からご意見はありますか。</p>
A委員	<p>パソコンやプロジェクターを使用するかは、事業者を選んで頂き、A3版1枚で提案概要をまとめた資料を提出していただくことで良いのではないのでしょうか。</p>
B委員	<p>2事業者統一した方法であれば、どちらでもよいのではないのでしょうか。</p>
C委員	<p>どちらでも結構です。</p>
D委員	<p>事業者のアピールポイントがより明確になるという点で、パワーポイントを使用していただけの方が、資料だけを見て説明する以外の特色が表れるかと思えます。事業者の力点を置くポイントを委員に説明する、事業者としてここを見てほしいという所をより際立たせる意味では、パワーポイントを使って事業者の特色を出させるというのは、プレゼンテーション能力を評価するひとつのポイントになるかなと思えます。</p>
E委員	<p>パワーポイントを作成することも、事業者を評価するうえでのポイントになると思えます。時間の限られた中で、プレゼンテーションをするというプレゼンテーション能力やパワーポイントを作成する視点なども非常に大切かと思えますので、パワーポイントを使用したいと考えます。</p>
委員長	<p>そうしましたら、プレゼンテーションの方法は、パワーポイントにより実施する、その際に提案内容をまとめたA3資料を提出していただくということで、決定したいと思います。</p>
委員長	<p>次に、プレゼンテーションの条件についてです。 まず、施設長候補者を中心としたプレゼンテーションをしていただくということでよろしいでしょうか。出席者数についてご意見はございますか。</p>
B委員	<p>施設長候補者を含めて3名程度でよいと思えます。</p>

委員長	それでは、出席者は施設長候補者を含めて3名程度でよろしいですか。
全委員	了承
委員長	次に追加資料については、いかがですか。特にご意見がないようでしたら、追加資料はなしとします。
委員長	<p>それでは、審議の内容をまとめます。</p> <p>プレゼンテーションの方法については、パソコンを用いてパワーポイントによるプレゼンテーションを実施し、A3版1枚の提案概要を提出していただきます。プレゼンテーションは、施設長候補者を中心に行っていただき、出席者は3名程度、追加資料については不要とします。</p> <p>以上のとおり、第二次審査について決定します。</p>
全委員	了承
委員長	今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>3 今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールを説明
委員長	今後のスケジュールについて、何かご意見はございますか。
全委員	特になし
	4 閉会